

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月13日

上場会社名 株式会社アオプロモーション
 コード番号 9607 URL <http://www.aoi-pro.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高瀬 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 八重樫 悟
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

TEL 03-3779-8000

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,331	—	△31	—	△46	—	△148	—
20年3月期第1四半期	3,250	19.2	82	—	78	—	2	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△12.18	—
20年3月期第1四半期	0.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	17,036	—	9,293	—	54.1	—	757.25	
20年3月期	17,080	—	9,707	—	56.3	—	790.18	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 9,212百万円 20年3月期 9,613百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	5.00	—	20.00	25.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	7.00	—	18.00	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,640	—	550	—	520	—	245	—	20.14
通期	18,400	6.7	1,260	50.2	1,190	52.3	550	98.2	45.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	13,334,640株	20年3月期	13,334,640株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	1,169,026株	20年3月期	1,168,478株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	12,165,851株	20年3月期第1四半期	12,168,253株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、ますます停滞感が増してきました。原油・穀物等原材料価格の高騰、国際金融市場の混乱、米国に代表される海外景気の減速、円高基調の為替相場、生活必需品価格の上昇等々、企業にも家計にも逆風が強まってきました。

当広告業界におきましても、わが国経済の動きを反映し広告需要は俄かに低調になってきました。加えて、当社が主力とするテレビコマーシャルの需要は、メディアの新しい展開による広告媒体の多様化等の影響もあり更に厳しい状況となっております。

このような環境の中にありまして、当社グループでは、グループ各社の組織を挙げて業績の維持・向上に向けて鋭意努力してまいりました。積極的な営業活動により、売上高は何とか前年同期を上回ることができましたが、第2・第4四半期に傾斜しがちな売上高に対し費用は第1・第3四半期に膨らみがちと言う収益パターンから脱却できず、利益的には低調なものとなりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の連結業績は、売上高33億3千1百万円（前年同期比102.5%）、営業損失3千1百万円、経常損失4千6百万円、四半期純損失1億4千8百万円と前年同期比後退しました。

なお、主要部門別の営業状況は、映像制作事業部門が売上高30億8千7百万円（前年同期比101.2%）、その他の事業部門が売上高2億4千4百万円（前年同期比122.0%）でした。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の資産合計残高は170億3千6百万円（前連結会計年度末比4千4百万円減）となりました。これは、主に売上債権の減少及び仕掛品の増加等によるものです。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の負債合計残高は77億4千2百万円（前連結会計年度末比3億6千9百万円増）となりました。これは、主に借入金の増加等によるものです。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の純資産合計残高は92億9千3百万円（前連結会計年度末比4億1千3百万円減）となりました。これは、主に四半期純損失の計上及び配当等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ、6千7百万円増加しました。これは、主に財務活動による収入が営業活動及び投資活動による支出を上回ったことによるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、3億5千1百万円（前第1四半期連結会計期間比、4億7千5百万円減）となりました。これは、主にたな卸資産の増加及び仕入債務の減少等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、6千2百万円（前第1四半期連結会計期間比、9百万円増）となりました。これは、主に有形固定資産の取得の減少等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、4億8千1百万円（前第1四半期連結会計期間比、3億3千8百万円減）となりました。これは、主に借入金の増加等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、内外の種々の要因が重くのしかかり戦後最長の景気拡大から景気後退も考えざるを得ない状態に陥りつつあります。当然のことながら、企業・家計共により慎重な行動となると思われます。

勢い広告需要は、ますます冷え込むことが予想されます。一方、映像制作業界を取り巻く環境も広告媒体の多様化で変わりつつあり、当社のようなワンストップサービスに対応できる体制の整った制作会社への発注傾向が強くなっております。

引き続き積極的な営業活動を展開すると共に制作原価率の上昇を抑える等経費の節減に努め、平成20年5月16日決算発表時に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期業績の達成をめざしてまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

- ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法
当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
- ② 棚卸資産の評価方法
棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。
- ③ 原価計算の方法
年度決算では実際原価計算によっておりますが、四半期決算では社内経費については予定価格を適用しており、これにより生じた原価差異を仕掛品と売上原価へ配賦しております。
- ④ 固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
- ⑤ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法
繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用
当社及び連結子会社は、従来、仕掛品は個別法による原価法、貯蔵品は先入先出法による原価法によっておりましたが当第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、仕掛品は個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法)、貯蔵品は先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法)により算定しております。
この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、売上総利益が56,229千円少なく、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期損失が56,229千円多く計上されております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金額	金額
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,007,845	938,837
受取手形及び売掛金	6,772,652	7,392,635
仕掛品	1,129,118	678,414
貯蔵品	22,958	26,102
その他	361,556	259,096
貸倒引当金	△ 10,130	△ 11,978
流動資産合計	9,284,001	9,283,108
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,566,073	3,566,073
その他(純額)	1,594,693	1,547,273
有形固定資産合計	5,160,767	5,113,347
無形固定資産	153,887	158,228
投資その他の資産		
投資有価証券	872,135	912,423
その他	1,576,635	1,629,420
貸倒引当金	△ 11,276	△ 16,033
投資その他の資産合計	2,437,494	2,525,810
固定資産合計	7,752,149	7,797,386
資産合計	17,036,150	17,080,494

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,494,567	1,793,353
短期借入金	3,286,316	2,662,316
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	11,510	263,999
賞与引当金	55,758	108,914
役員賞与引当金	1,250	23,000
その他	902,854	529,219
流動負債合計	5,772,255	5,400,802
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	1,742,592	1,641,671
退職給付引当金	24,714	17,178
役員退職慰労引当金	148,624	257,849
負ののれん	24,279	25,849
固定負債合計	1,970,210	1,972,547
負債合計	7,742,465	7,373,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,323,900	3,323,900
資本剰余金	3,945,080	3,945,080
利益剰余金	2,714,613	3,106,158
自己株式	△ 790,192	△ 789,841
株主資本合計	9,193,401	9,585,297
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,018	28,137
評価・換算差額等合計	19,018	28,137
少数株主持分	81,264	93,708
純資産合計	9,293,684	9,707,144
負債純資産合計	17,036,150	17,080,494

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
	金額
売上高	3,331,701
売上原価	2,986,721
売上総利益	344,979
販売費及び一般管理費	
役員報酬	101,431
従業員給料	82,450
賞与引当金繰入額	4,514
役員賞与引当金繰入額	1,250
退職給付費用	3,984
役員退職慰労引当金繰入額	8,959
その他	173,547
販売費及び一般管理費合計	376,137
営業損失	△ 31,157
営業外収益	
受取利息	301
受取配当金	2,316
為替差益	1,852
受取保険金	821
負ののれん償却額	1,570
その他	3,489
営業外収益合計	10,351
営業外費用	
支払利息	20,172
持分法による投資損失	2,595
その他	2,822
営業外費用合計	25,589
経常損失	△ 46,395
特別利益	
貸倒引当金戻入額	11,104
特別利益合計	11,104
特別損失	
役員退職慰労金	129,615
投資有価証券評価損	22,317
貸倒引当金繰入額	4,500
会員権評価損	2,500
固定資産除却損	110
特別損失合計	159,043
税金等調整前四半期純損失	△ 194,333
法人税、住民税及び事業税	2,597
法人税等調整額	△ 36,265
法人税等合計	△ 33,667
少数株主損失	△ 12,444
四半期純損失	△ 148,221

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△ 194,333
減価償却費	91,673
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 6,604
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 6,159
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△ 109,224
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 53,156
受取利息及び受取配当金	△ 2,617
支払利息	20,172
為替差損益 (△は益)	△ 7
売上債権の増減額 (△は増加)	629,239
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 447,560
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△ 6,714
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 298,786
その他負債の増減額 (△は減少)	291,339
その他	4,172
小計	△ 88,567
利息及び配当金の受取額	2,601
利息の支払額	△ 18,744
法人税等の支払額	△ 246,570
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 351,280
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 55,678
無形固定資産の取得による支出	△ 1,801
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△ 4,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 62,076
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (純額)	660,000
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△ 235,079
自己株式の取得による支出	△ 351
配当金の支払額	△ 243,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	481,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	67,897
現金及び現金同等物の期首残高	910,811
現金及び現金同等物の四半期末残高	978,708

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

(1) 前四半期に係る財務諸表等

① (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
	金額
売上高	3,250,467
売上原価	2,812,127
売上総利益	438,339
販売費及び一般管理費	355,605
営業利益	82,734
営業外収益	
受取利息	465
為替差益	2,032
その他	17,766
営業外収益合計	20,264
営業外費用	
支払利息	18,255
支払手数料	2,708
その他	3,403
営業外費用合計	24,366
経常利益	78,632
特別利益	2,186
特別損失	90
税金等調整前四半期純利益	80,728
税金費用	89,103
少数株主損失	△ 10,709
四半期純利益	2,334

② (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	80,728
減価償却費	88,230
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	712
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22,044
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,268
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 39,924
受取利息及び受取配当金	△ 2,278
支払利息	18,255
為替差損	27
売上債権の増減額 (△は増加)	51,011
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 567,113
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	8,612
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 194,812
その他負債の増減額 (△は減少)	26,977
その他	4,719
小計	△ 498,539
利息及び配当金の受取額	2,278
利息の支払額	△ 18,248
法人税等の支払額	△ 311,890
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 826,401
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 26,545
無形固定資産の取得による支出	△ 109
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△ 26,418
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 53,073
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (純額)	760,000
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	△ 220,777
自己株式の増減額 (△は増加)	△ 523
配当金の支払額	△ 219,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	819,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 59,837
現金及び現金同等物の期首残高	1,066,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,006,959

(2) 受注及び販売の状況

① 部門別売上高明細表

(単位：千円、%)

		前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)		当四半期 (平成21年3月期第1四半期)		前連結会計年度 (平成20年3月期)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
CM作品	オリジナル	2,183,196	67.2	2,217,004	66.5	10,957,966	63.5
	改訂	104,999	3.2	151,827	4.6	390,903	2.3
映像作品		286,500	8.8	289,259	8.7	2,632,723	15.3
その他	プリント	276,271	8.5	228,076	6.9	993,996	5.8
	企画等	198,955	6.1	200,902	6.0	1,129,221	6.5
映像制作事業		3,049,923	93.8	3,087,070	92.7	16,104,811	93.4
その他の事業		200,543	6.2	244,631	7.3	1,145,626	6.6
合計		3,250,467	100.0	3,331,701	100.0	17,250,438	100.0

② 部門別受注状況明細表

(単位：千円)

		前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)		当四半期 (平成21年3月期第1四半期)		前連結会計年度 (平成20年3月期)	
		受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
CM作品	オリジナル	2,028,508	1,411,050	1,280,436	990,632	11,319,428	1,927,200
	改訂	87,411	16,711	106,377	28,050	430,103	73,500
映像作品		574,379	635,174	330,748	111,413	2,361,352	75,924
その他	プリント	276,271	—	228,076	—	993,996	—
	企画等	238,922	142,333	280,671	86,468	1,034,555	7,700
映像制作事業		3,205,493	2,205,269	2,226,310	1,216,563	16,139,436	2,084,324
その他の事業		200,543	—	244,631	—	1,145,626	—
合計		3,406,037	2,205,269	2,470,941	1,216,563	17,285,063	2,084,324

(3) 経営指標等の推移

① 平成21年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (20年4月～20年6月)			
売上高	3,331,701			
売上総利益	344,979			
営業損失	△31,157			
経常損失	△46,395			
税金等調整前四半期(当期)純損失	△194,333			
四半期(当期)純損失	△148,221			

② 平成20年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (19年4月～19年6月)	第2四半期 (19年4月～19年9月)	第3四半期 (19年4月～19年12月)	第4四半期 (19年4月～20年3月)
売上高	3,250,467	7,884,330	11,711,828	17,250,438
売上総利益	438,399	1,142,401	1,652,576	2,215,011
営業利益	82,734	480,129	675,216	839,032
経常利益	78,632	455,301	633,464	781,343
税金等調整前四半期(当期)純利益	80,728	476,169	648,163	727,221
四半期(当期)純利益	2,334	188,640	253,175	277,433

③ 平成19年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (18年4月～18年6月)	第2四半期 (18年4月～18年9月)	第3四半期 (18年4月～18年12月)	第4四半期 (18年4月～19年3月)
売上高	2,726,703	6,466,264	9,150,842	14,832,892
売上総利益	94,969	797,599	834,705	1,702,845
営業利益 (△損失)	△204,768	213,150	△9,608	575,883
経常利益 (△損失)	△199,969	209,994	△18,739	575,974
税金等調整前四半期(当期)純利益 (△損失)	△225,599	177,588	△84,615	478,690
四半期(当期)純利益 (△損失)	△184,118	92,059	△58,582	138,700